

(別紙2) 提案書を特定するための評価基準

評価項目		評価の着眼点	
			判断基準
(1)実施体制に関する事項		実施体制	業務責任者及び業務従事者に当該事業に関連する実績・経験があり、また、事業を円滑に遂行する組織力、区の要求に対応する能力、必要に応じて体制を見直す柔軟性が高い場合、優位に評価する。
		プラットフォーム活性化に有するスキル	会員登録に係る案内、コミュニティの活性化に向けた提案・調整などを実施する能力が高いと思われる場合は優位に評価する。
(2)同種・類似業務の実績		実績	他区市町村や民間から同種又は類似、且つ同規模の業務を受託した際の履行内容及び実績が豊富な場合は優位に評価する。
(3)実施方針等		業務理解度	実施方針が本業務の目的に合致しかつ効果的であり、加えて業務理解度が高く、区の施策であることを理解した事務が行われ、スケジュールが的確に遂行可能と思われる場合は優位に評価する。
(4)業務内容に関する提案	(ⅰ)せたがや産業創造プラットフォームの構築について	参加企業・人材を確保する有効性・実現性	プラットフォームへの参加企業・人材を確保する手法の有効性・実現性が高いと思われる場合は優位に評価する。
		ブランディングの計画性	キービジュアルやタイトルなどによるブランディング力が高いと思われる場合に優位に評価する。
		区内産業及び経済状況の現状及び社会情勢のトレンドに関する分析能力	区内産業及び経済状況の現状及び社会情勢のトレンドを的確に認識し、整理・分析能力が高いと思われる場合に優位に評価する。
		広報の効果性	特設サイトの構築や当該事業のターゲット層や、プロジェクトごとに効果的な広報媒体や手法を用いる提案であり、効果性が高いと思われる場合は、優位に評価する。
		目標の適正及び実現性	プラットフォームへの参加企業・人材の参加数やプラットフォームを活用した取組(産業活性化拠点事業との連携)の目標設定が他社より有利な点があり、その実現性が高いと認められる場合に優位に評価する。
	(ⅱ)プラットフォーム各種プロジェクトについて	企画提案能力および実現性	地域経済活性化や地域・社会課題解決に資するプロジェクトの企画能力・実現性が高いと思われる場合に優位に評価する。
		プロジェクト・イベント等の有効性・実現性	プラットフォームの参加者を確保する効果的なプロジェクト・イベントと思われる場合は優位に評価する。
	(ⅲ)ソーシャルマッチング事業の実施について	企画提案能力および実現性	区内の企業、大学等と協働し、区の地域課題について検証を行い、結果を発信するプロジェクトについて、企画能力・実現性が高いと思われる場合に優位に評価する。
		企業・大学との協働実績	企業や大学等と協力し、同様のプロジェクトに取り組んだ経験があり、履行内容及び実績が豊富な場合は優位に評価する。
	(ⅰ)～(ⅲ)を履行するにあたっての強み、PRなど		各業務の実施について、手法・計画が有効で効果的と思われる場合に優位に評価する。また、業務遂行に当たって他社より有利な点があることが認められる場合に優位に評価する。
(5)継続性		これまでの取組を踏まえた改善可能性	これまでの本事業の取組を踏まえた継続性およびより効果的な事業運営について他社より有利な点があることが認められる場合に優位に評価する。
(6)見積書		金額、内容	見積り金額、内容が妥当である場合は優位に評価する。